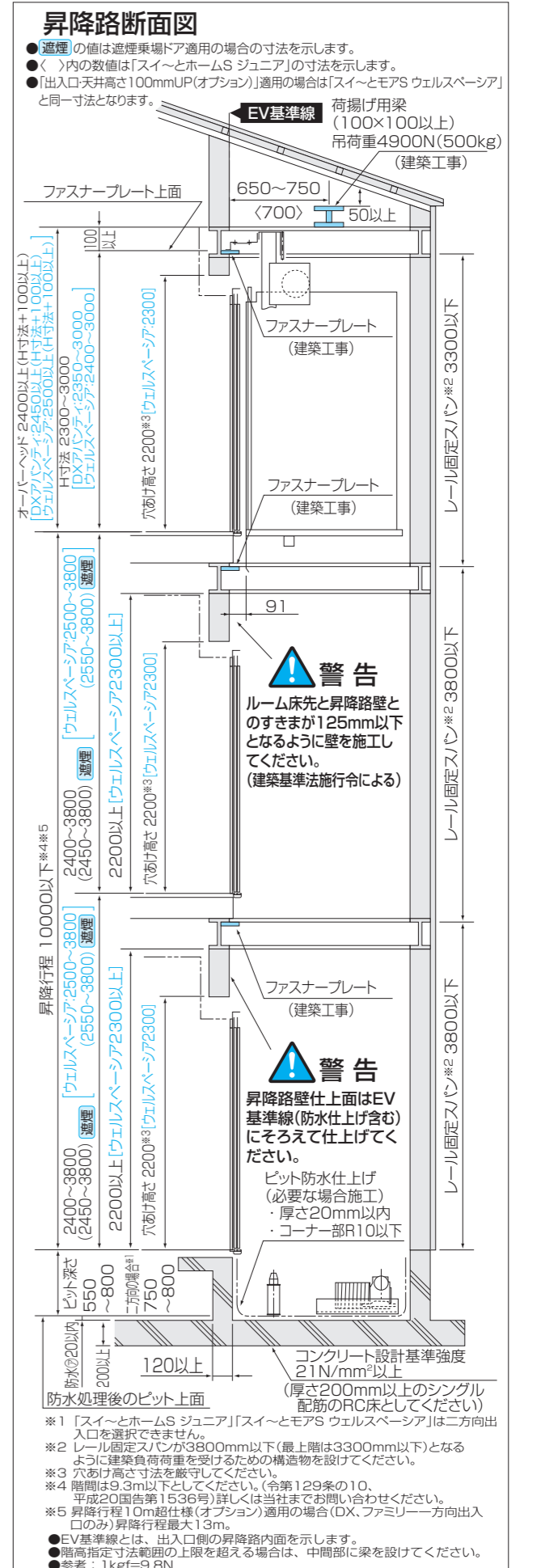
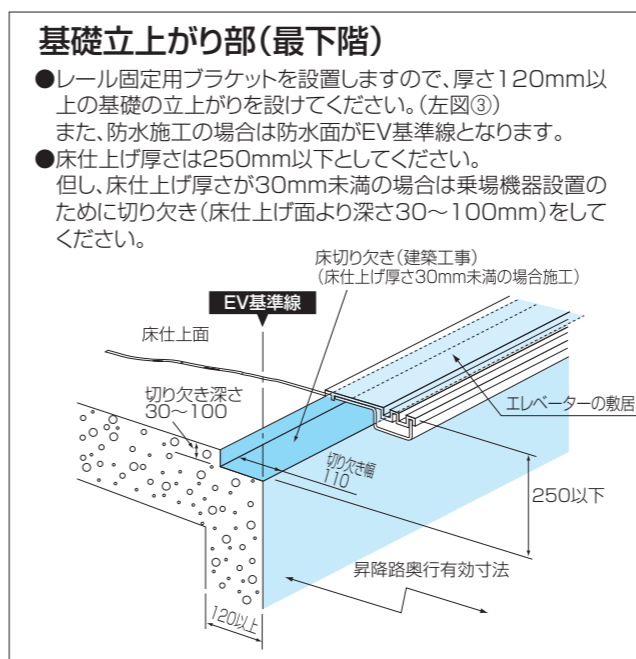
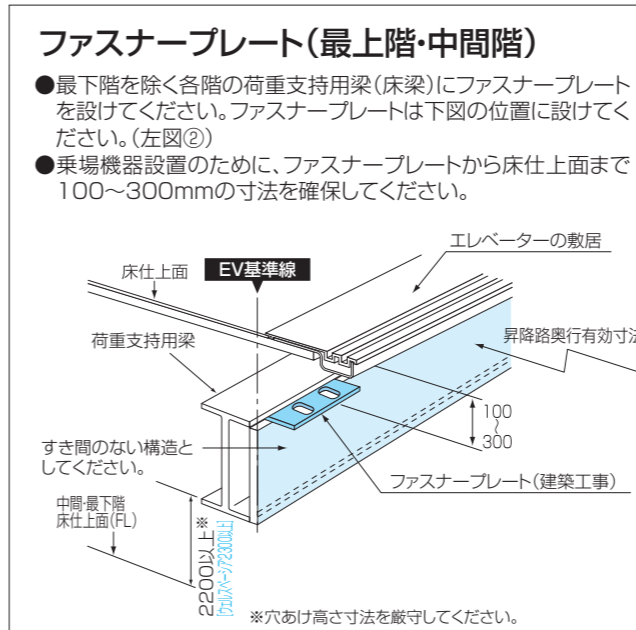
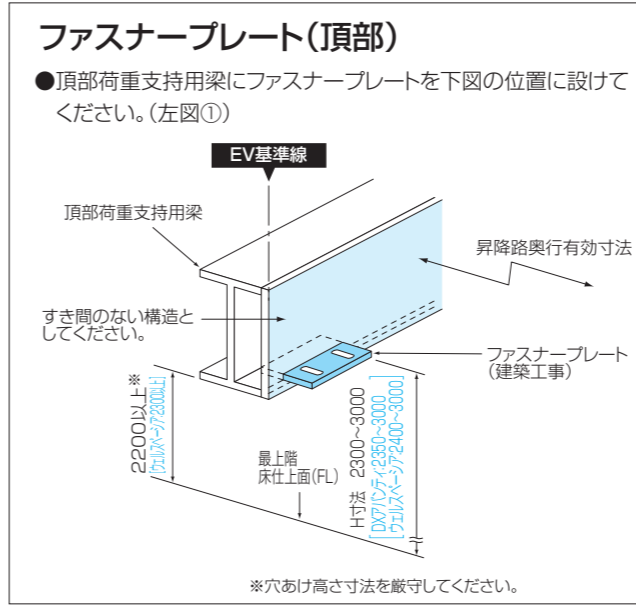
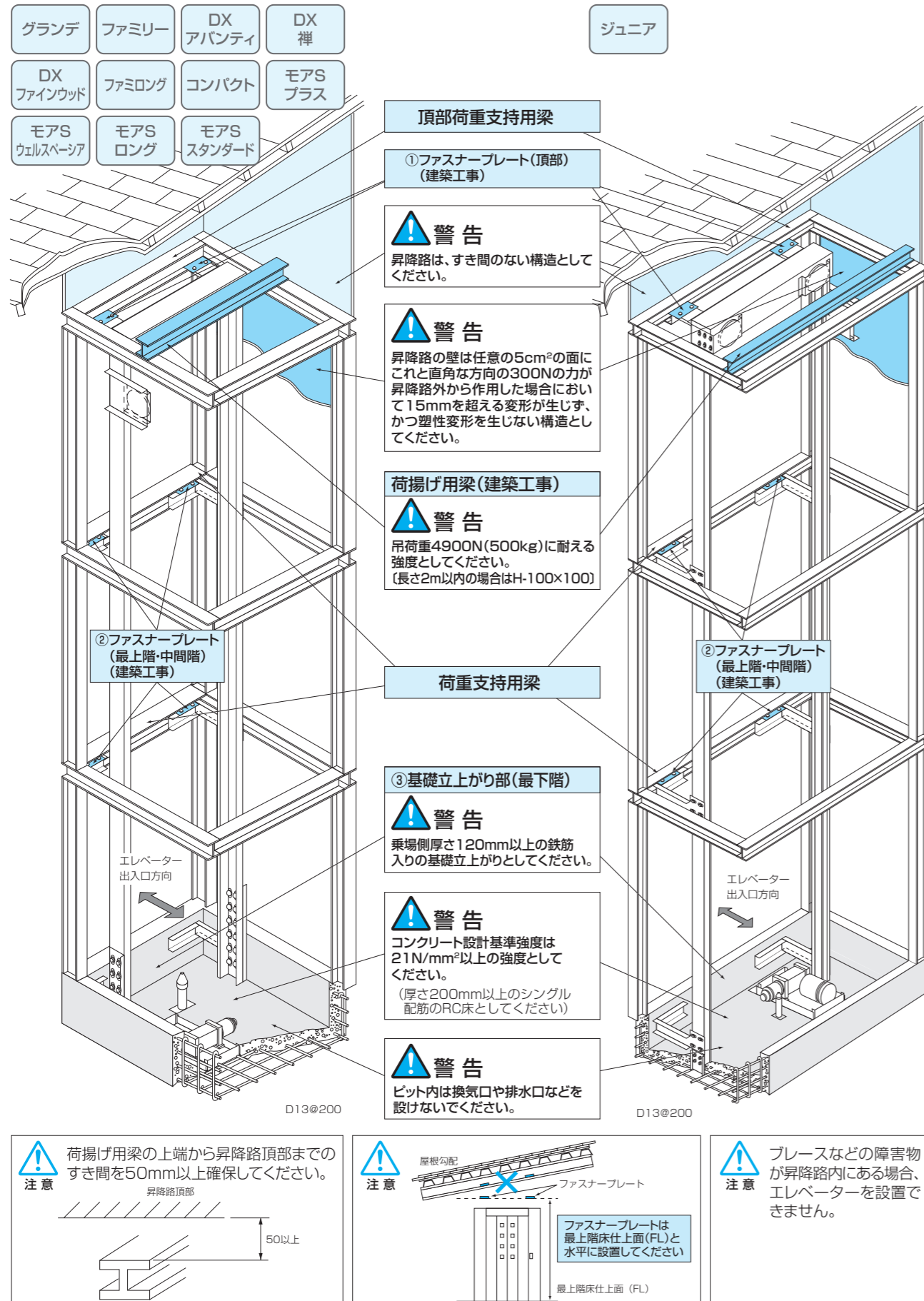


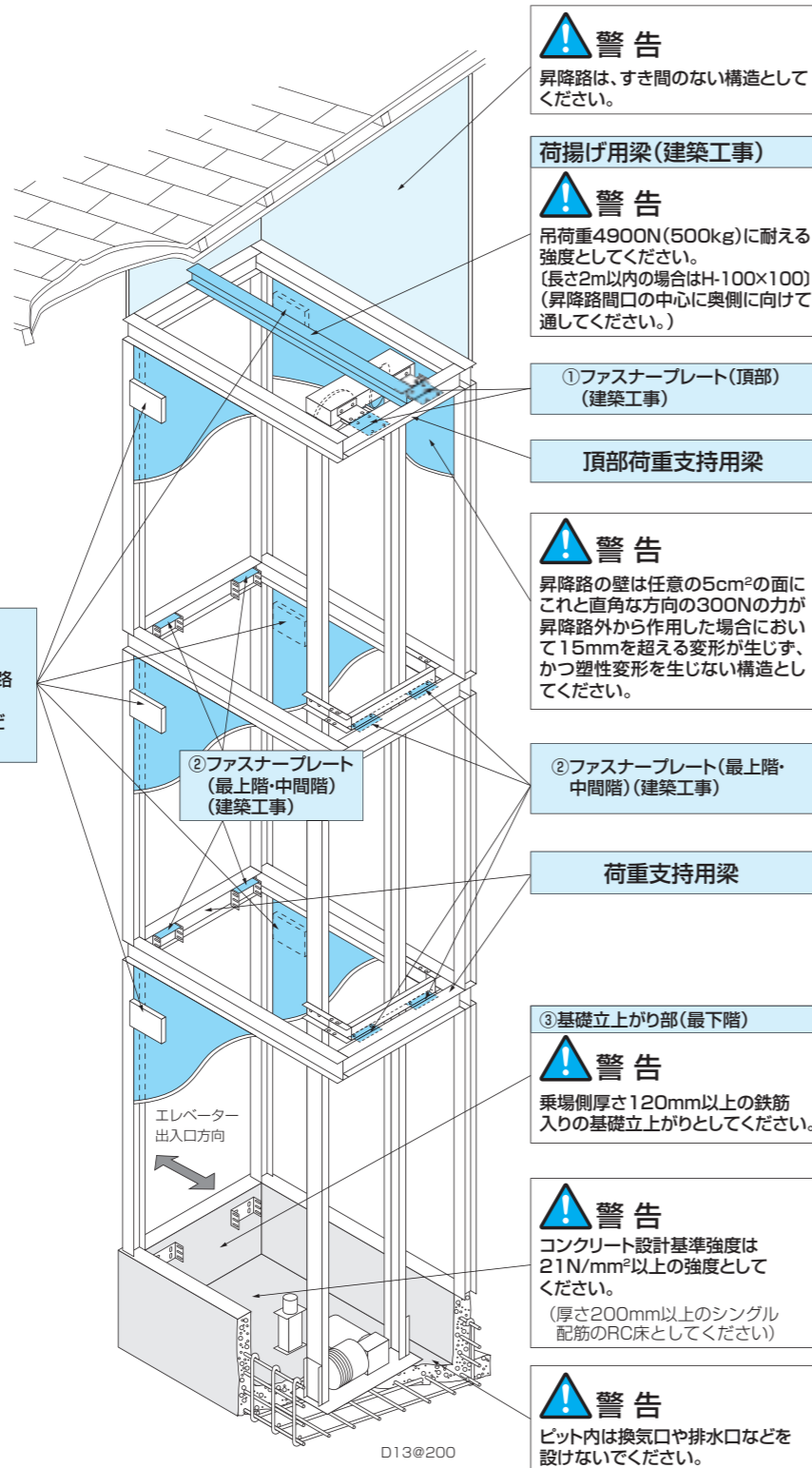
### 標準断面図

#### 昇降路の構造



## 標準断面図 昇降路の構造

ファミスリム



**警告**  
昇降路は、すき間のない構造としてください。

**荷揚げ用梁(建築工事)**

**警告**  
吊荷重4900N(500kg)に耐える強度としてください。  
(長さ2m以内の場合はH・100×100)  
(昇降路間口の中心に奥側に向けて通してください。)

**①ファスナープレート(頂部) (建築工事)**

**頂部荷重支持用梁**

**警告**  
昇降路の壁は任意の5cm<sup>2</sup>の面にこれと直角な方向の300Nの力が昇降路外から作用した場合において15mmを超える変形が生じず、かつ塑性変形を生じない構造としてください。

**②ファスナープレート(最上階・中間階) (建築工事)**

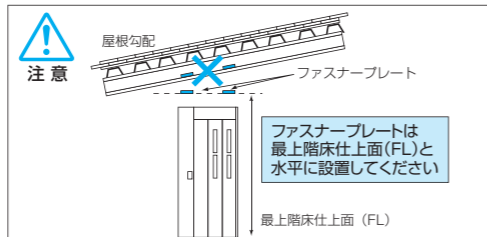
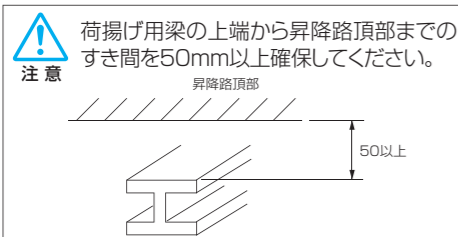
**荷重支持用梁**

**③基礎立上がり部(最下階)**

**警告**  
乗場側厚さ120mm以上の鉄筋入りの基礎立上がりとしてください。

**警告**  
コンクリート設計基準強度は21N/mm<sup>2</sup>以上の強度としてください。  
(厚さ200mm以上のシングル配筋のRC床としてください)

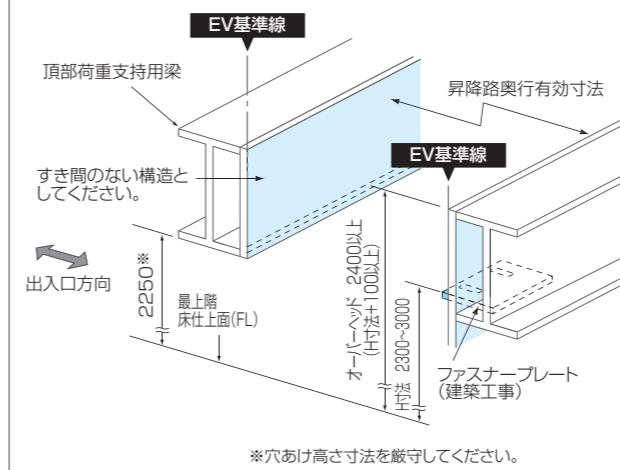
**警告**  
ピット内は換気口や排水口などを設けないでください。



**注意**  
ブレースなどの障害物が昇降路内にある場合、エレベーターを設置できません。

### ファスナープレート(頂部)

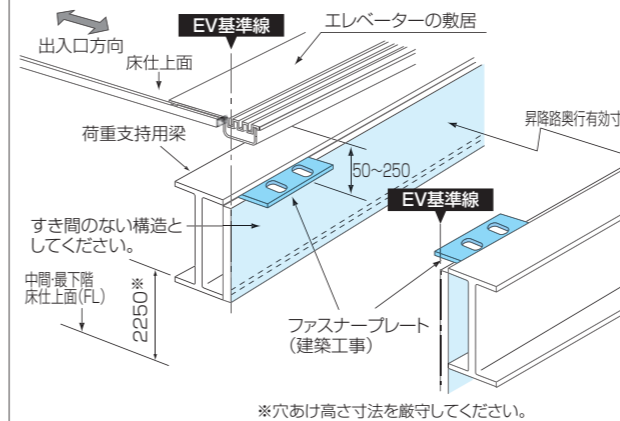
●頂部荷重支持用梁にファスナープレートを下図の位置に設置してください。(左図①)



### ファスナープレート(最上階・中間階)

●最下階を除く各階の荷重支持用梁(床梁)にファスナープレートを設置してください。ファスナープレートは下図の位置に設置してください。(左図②)

●乗場機器設置のために、ファスナープレートから床仕上面まで50~250mmの寸法を確保してください。

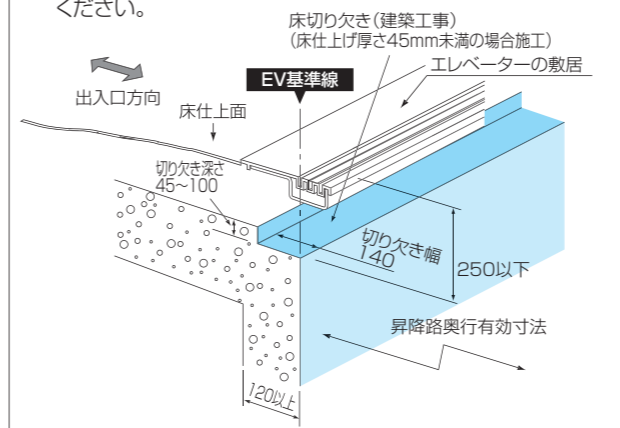


### 基礎立上がり部(最下階)

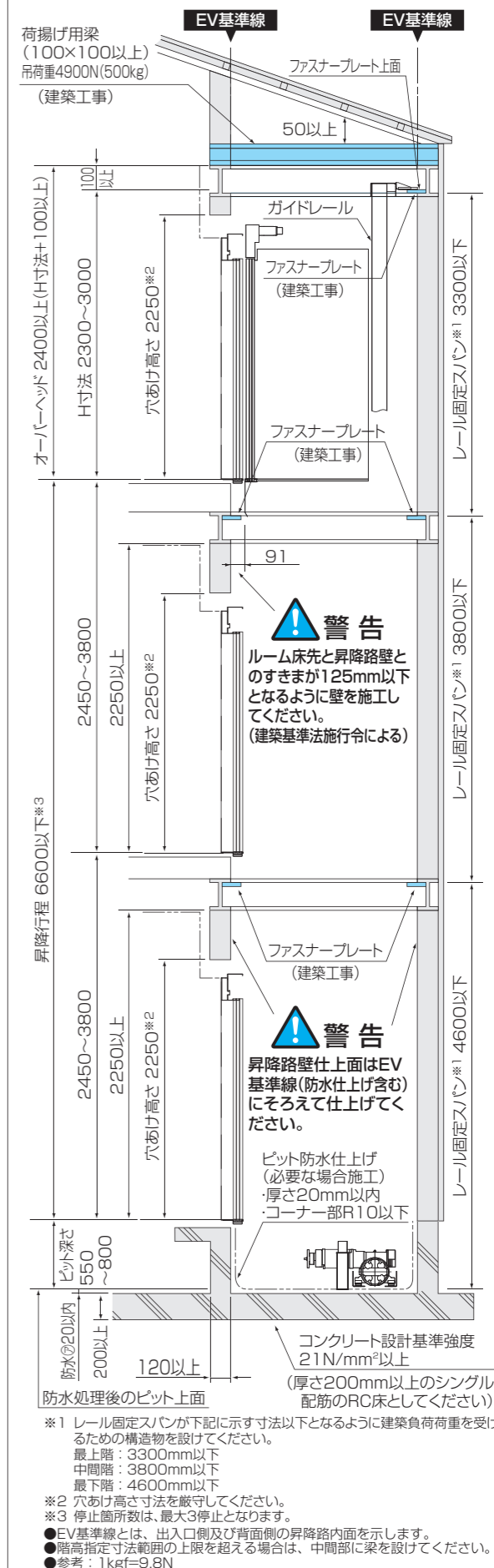
●乗場固定用ブラケットを設置しますので、厚さ120mm以上の基礎の立上りを設置してください。(左図③)

また、防水施工の場合は防水面がEV基準線となります。

●床仕上げ厚さは250mm以下としてください。但し、床仕上げ厚さが45mm未満の場合は乗場機器設置のために切り欠き(床仕上げ面より深さ45~100mm)をしてください。

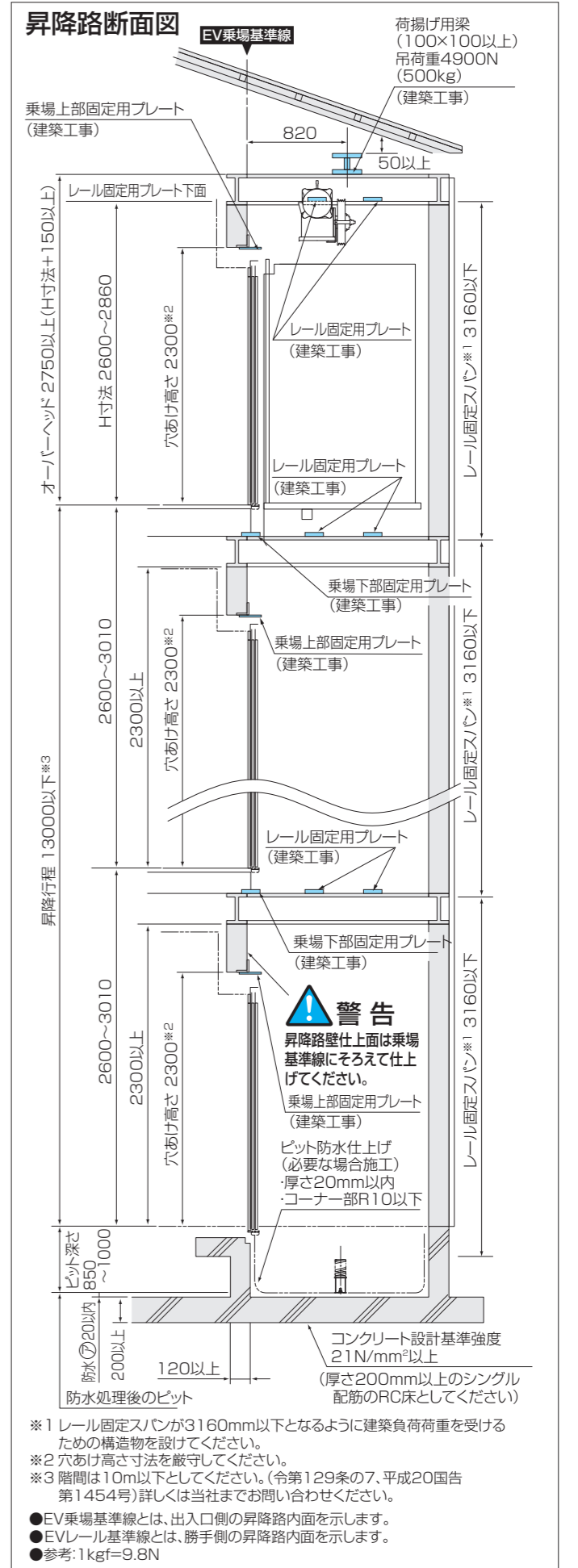
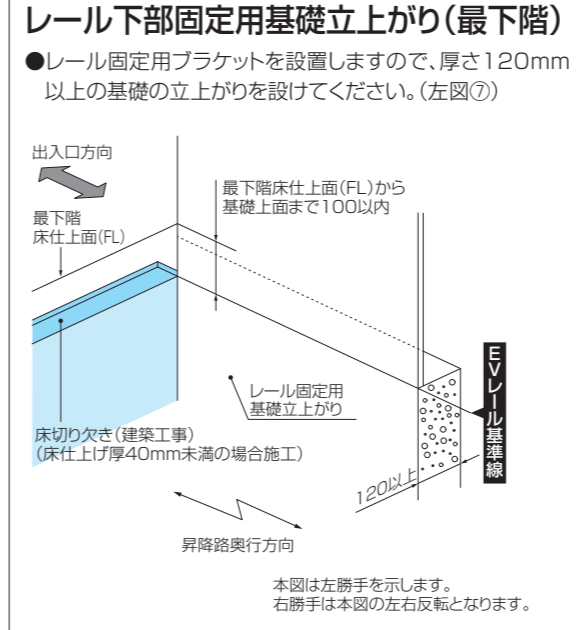
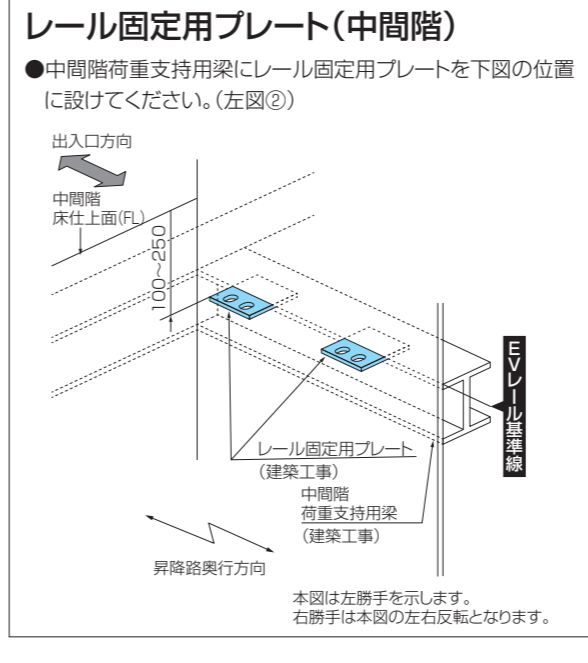
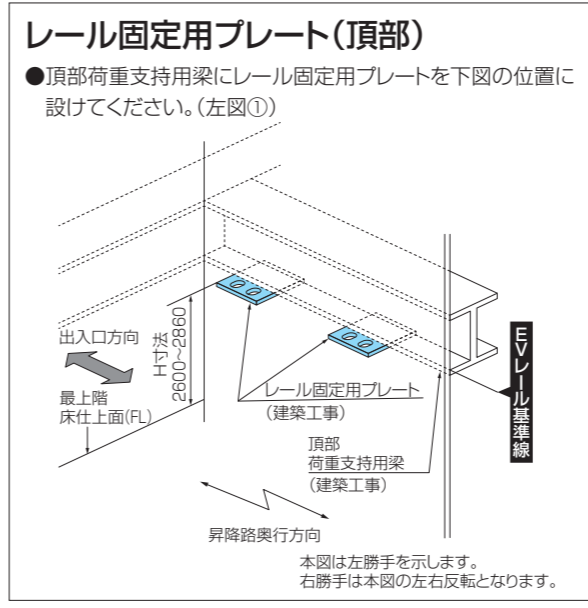
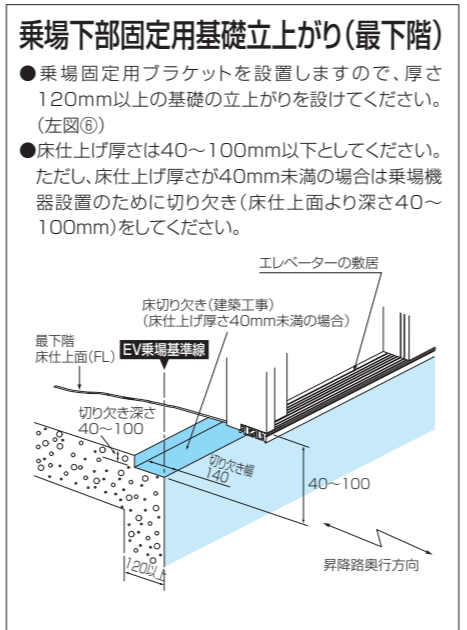
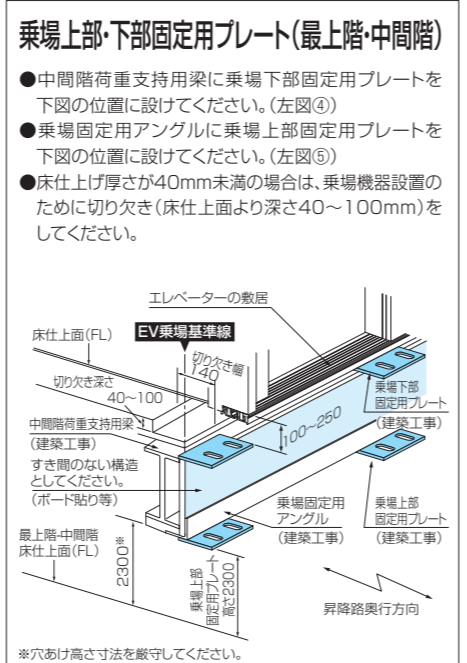
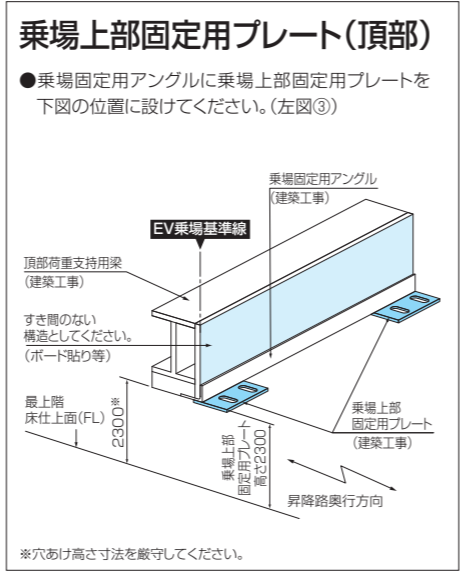
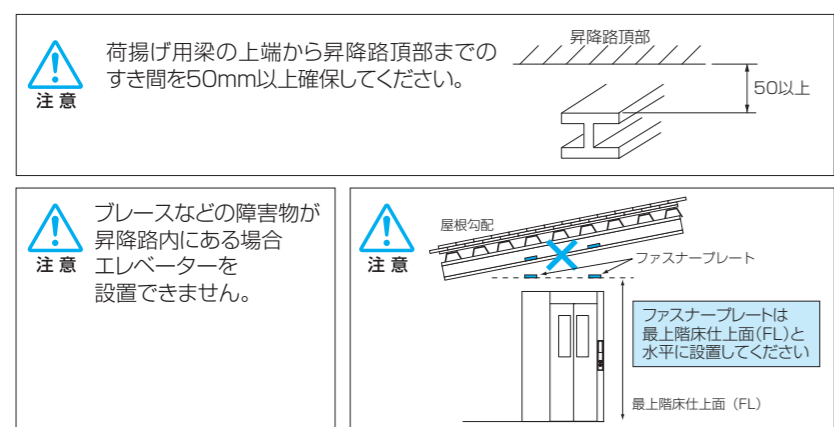
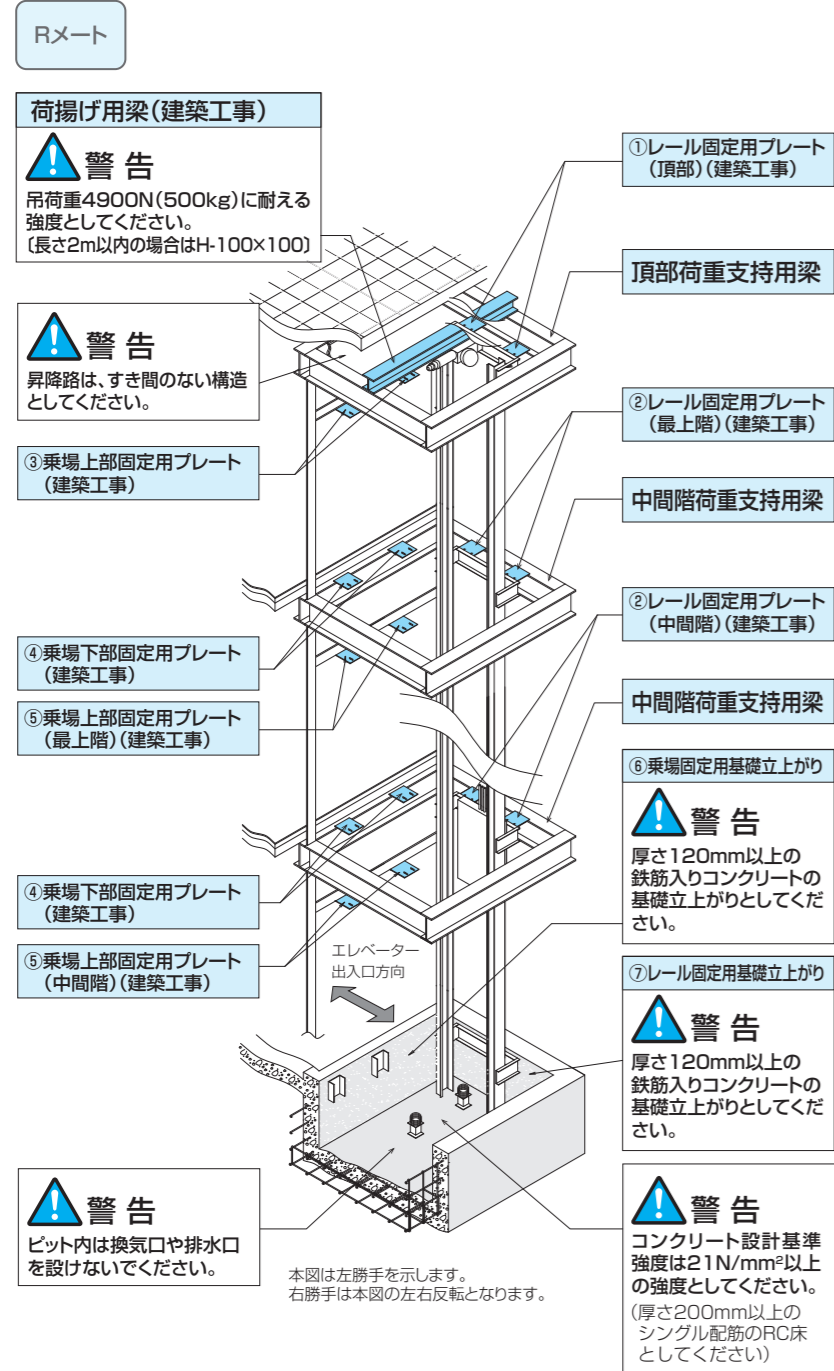


### 昇降路断面図



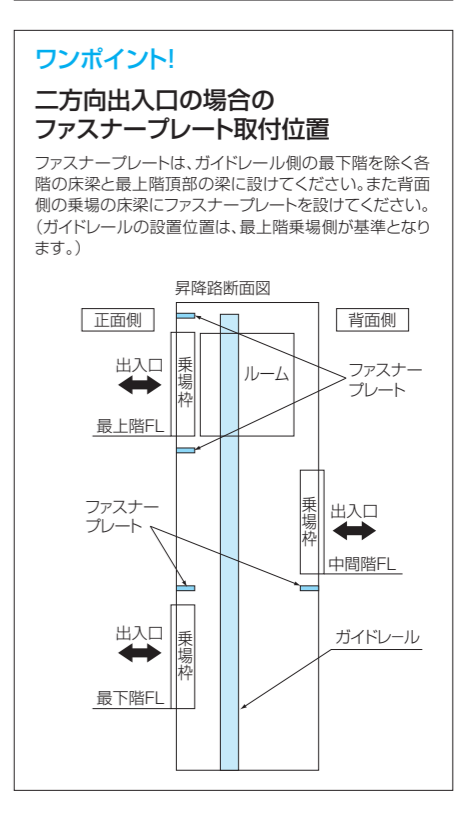
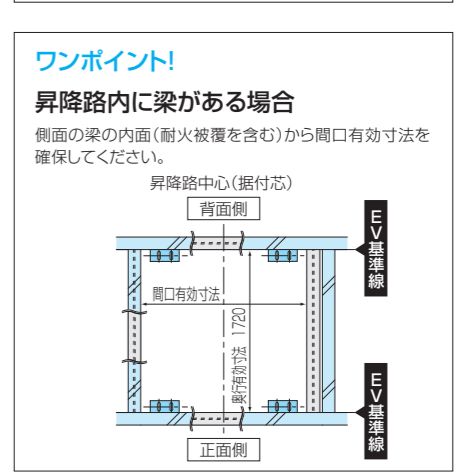
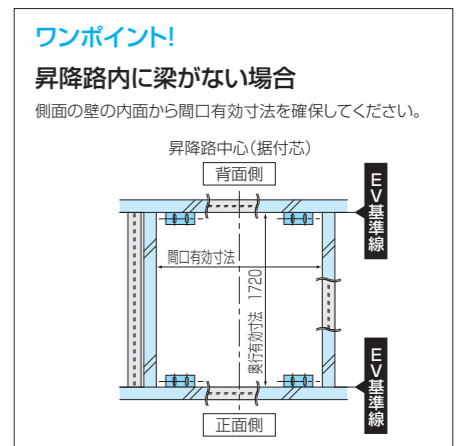
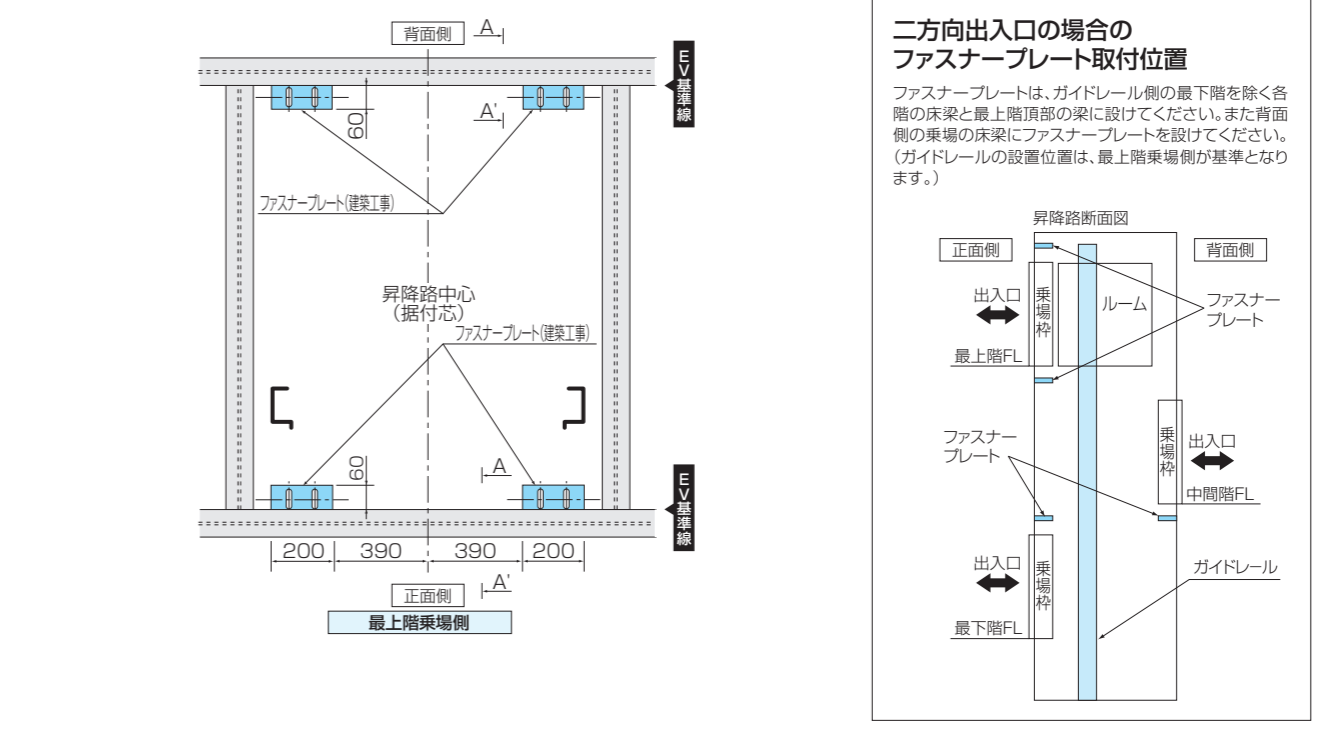
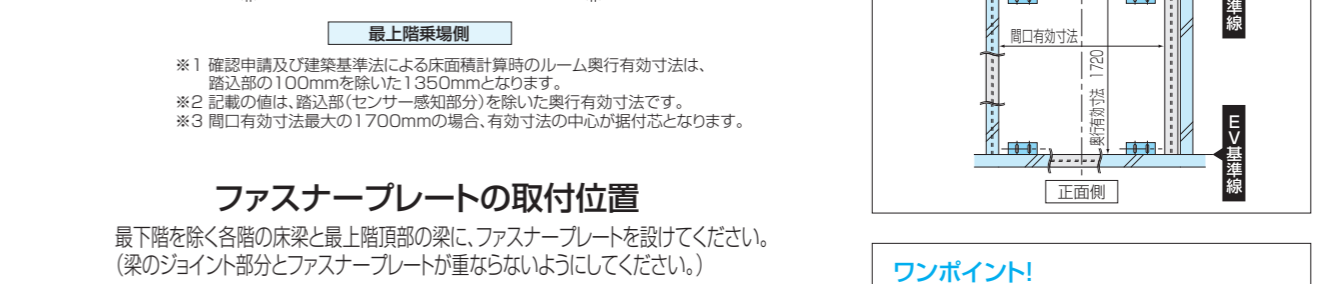
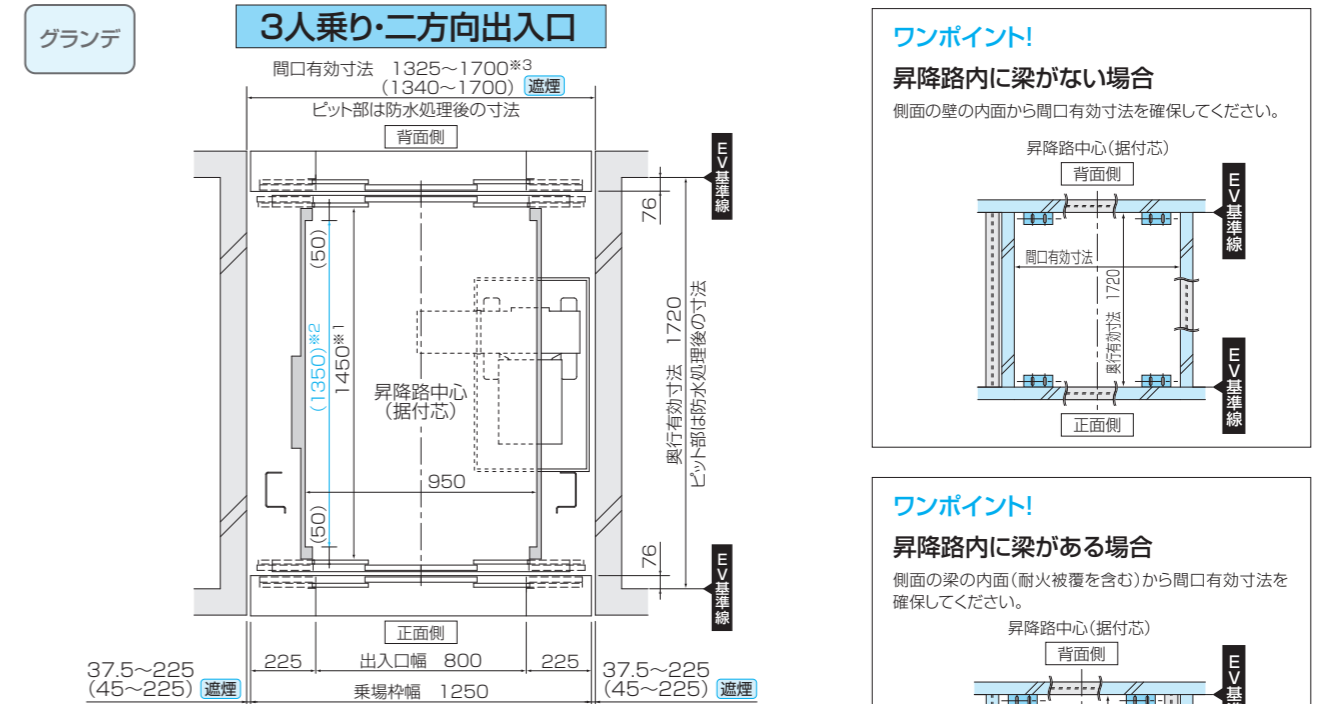
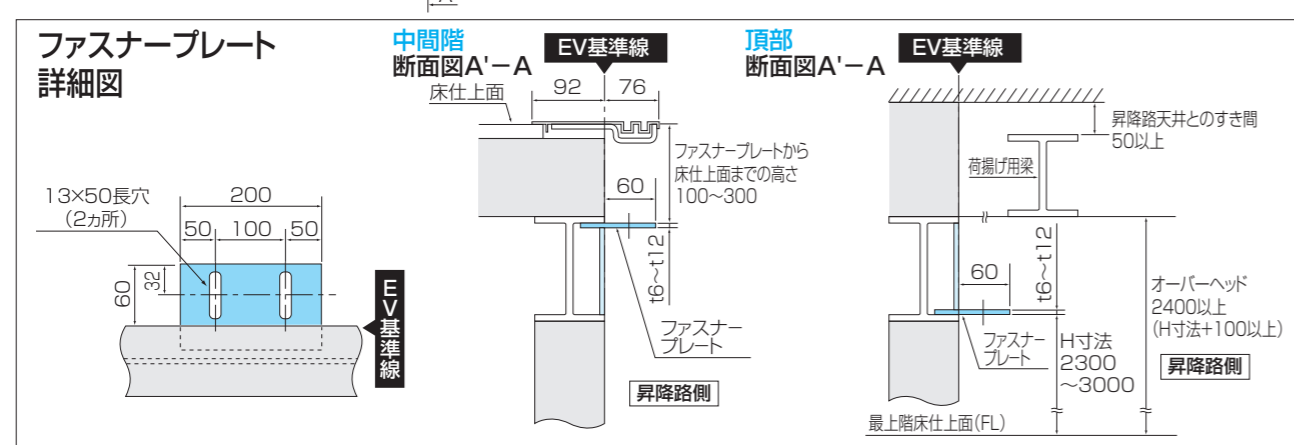
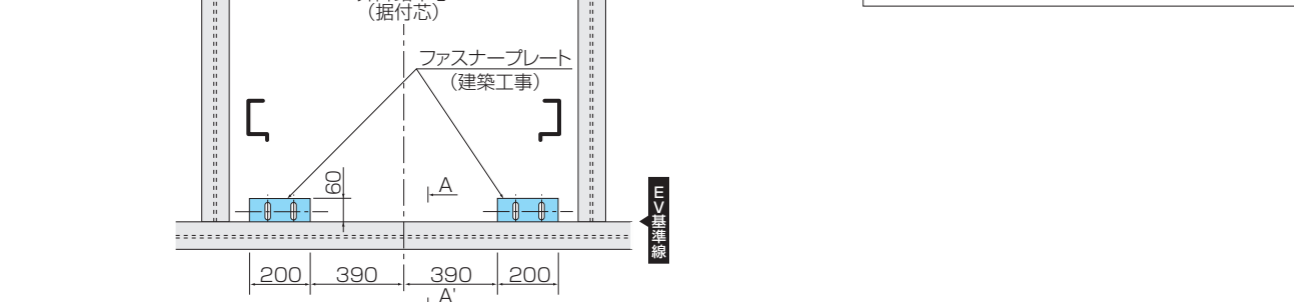
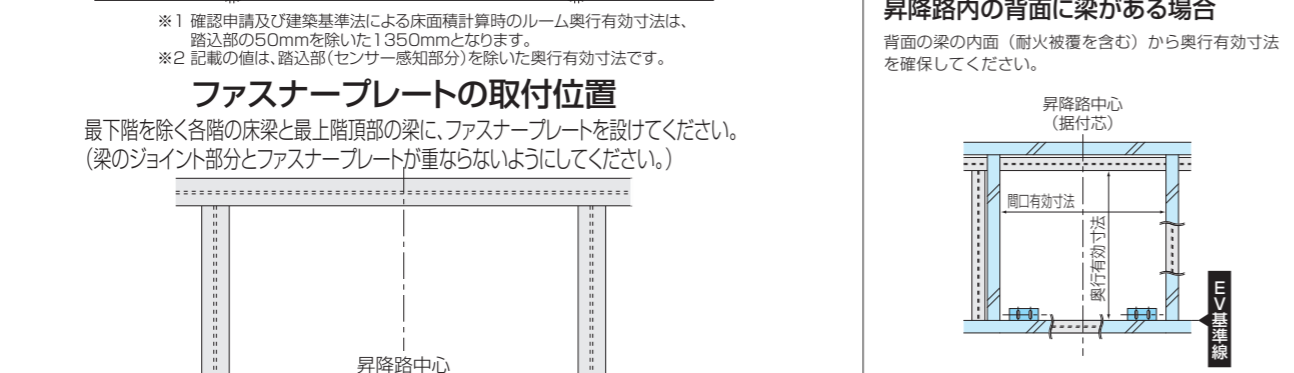
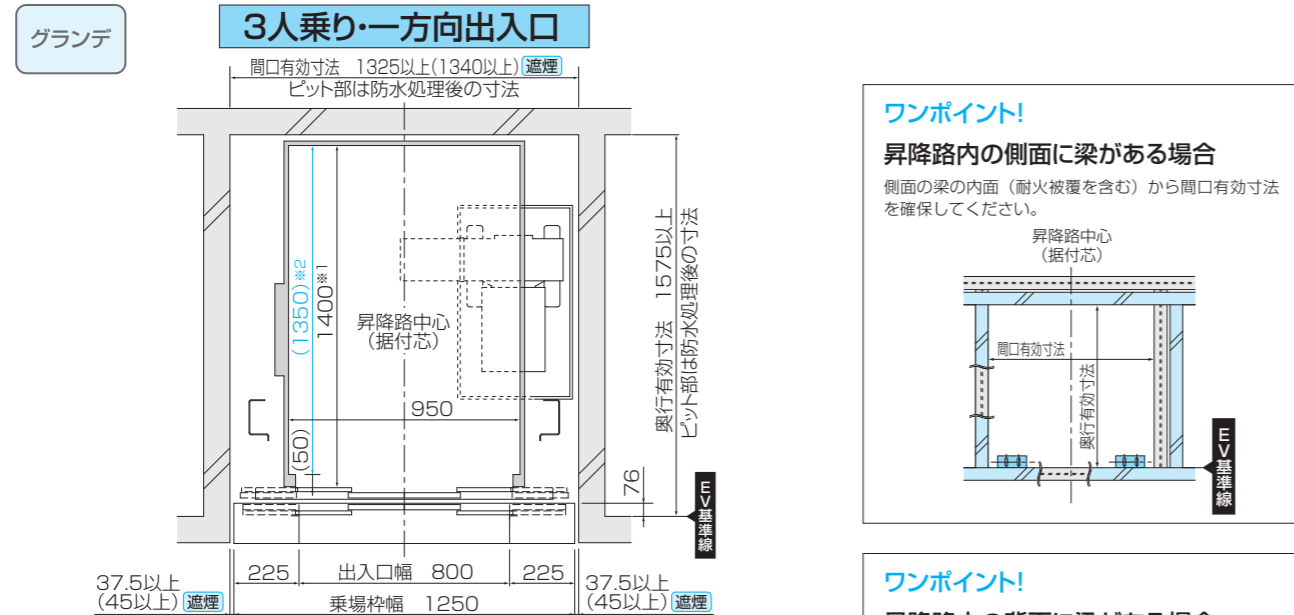


## 標準断面図 昇降路の構造



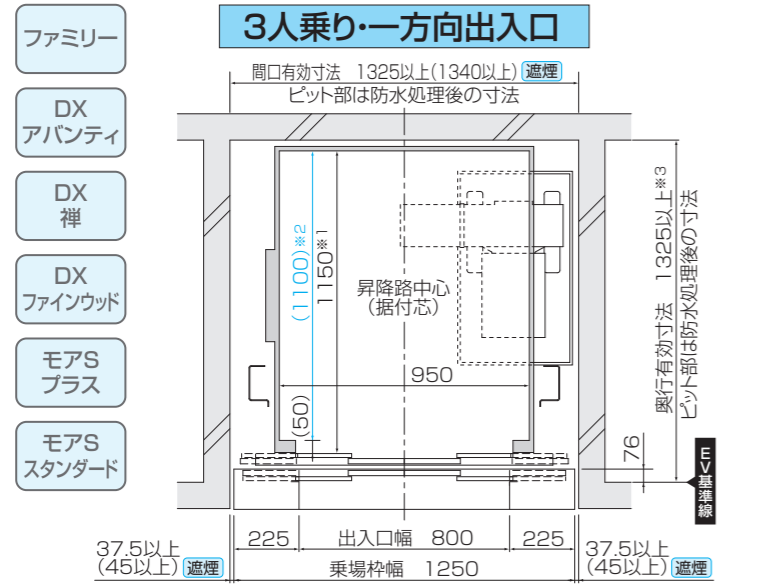
## 標準平面図 遮煙乗場ドア適用の場合は、一部寸法が異なりますので、詳しくは71~76ページをご参照ください。 (遮煙)の値は遮煙乗場ドア適用の場合の寸法を示します。

- 下図の昇降路有効寸法を確保してください。
- 電気・電話工事は77~80、82ページをご参照ください。
- EV基準線、二方向出入口の留意点につきましては11~14ページをご参照ください。
- 地下階がコンクリート造などの建物が複合構造となる場合は、EV基準線や昇降路有効寸法の確保について当社までご相談ください。



#### 標準平面図 遮煙乗場ドア適用の場合は、一部寸法が異なりますので、詳しくは71〜76ページをご参照ください。 (遮煙の値は遮煙乗場ドア適用の場合の寸法を示します。)

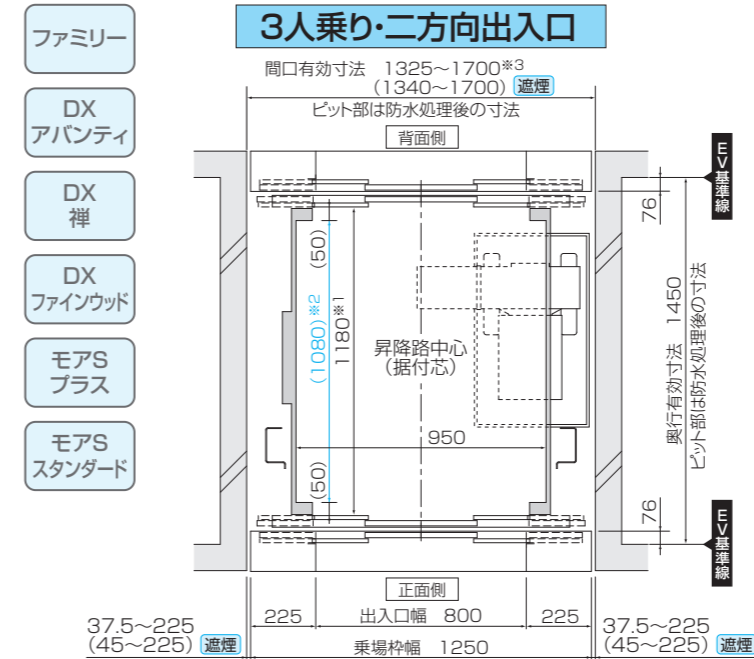
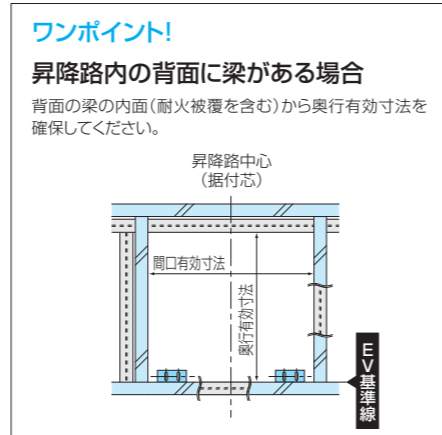
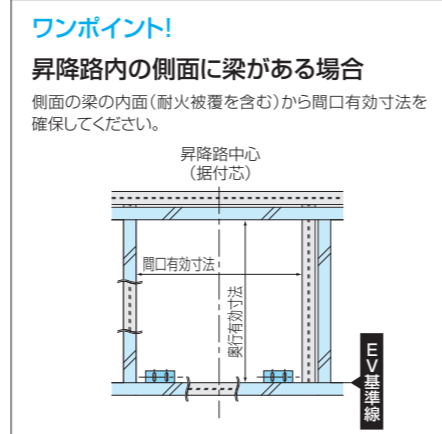
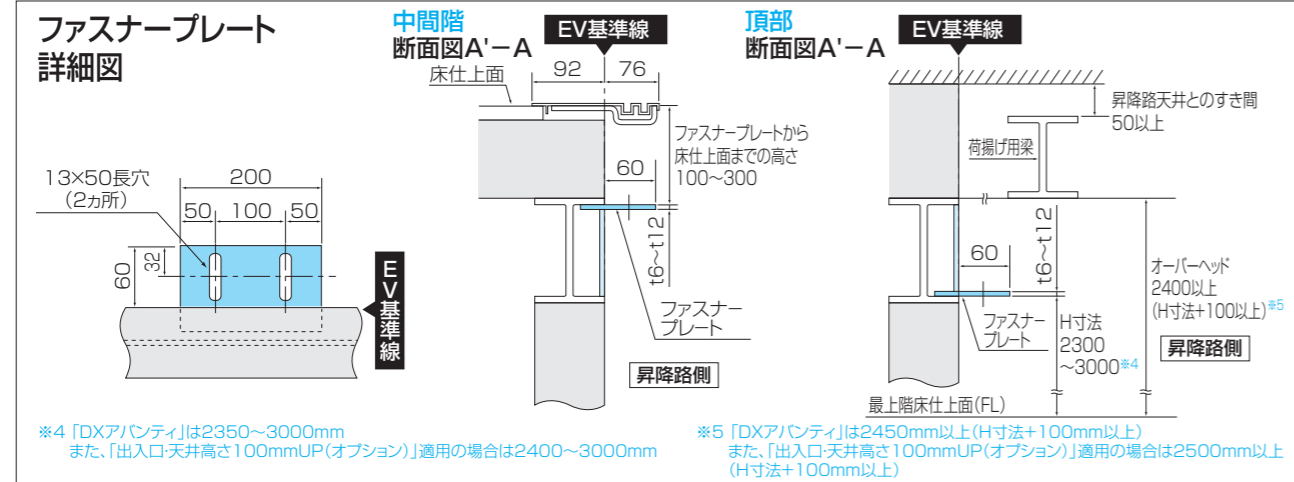
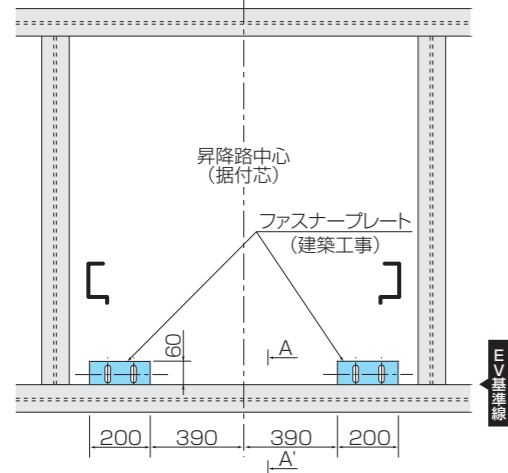
- 下図の昇降路有効寸法を確保してください。
- 電気・電話工事は77〜80、82ページをご参照ください。
- EV基準線、二方向出入口の留意点につきましては11〜14ページをご参照ください。
- 地下階がコンクリート造などの建物が複合構造となる場合は、EV基準線や昇降路有効寸法の確保について当社までご相談ください。



※1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の50mmを除いた1100mmとなります。  
※2 記載の値は、踏込部(センサー感知部分)を除いた奥行有効寸法です。  
※3 昇降行程10m超仕様(オプション)適用の場合、奥行有効寸法1350以上となります

#### ファスナープレートの取付位置

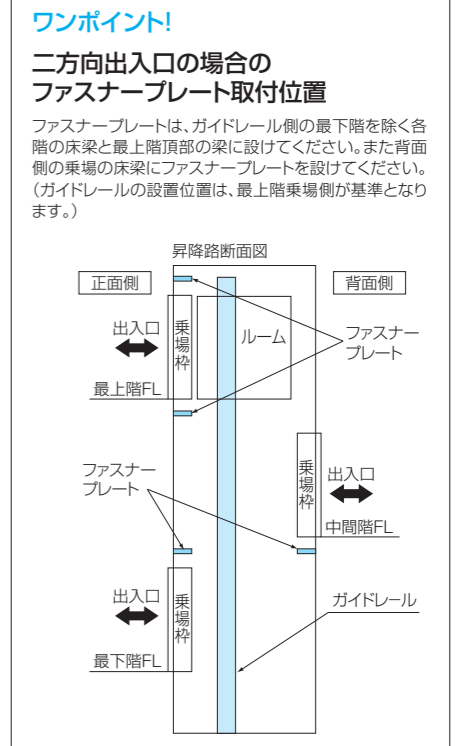
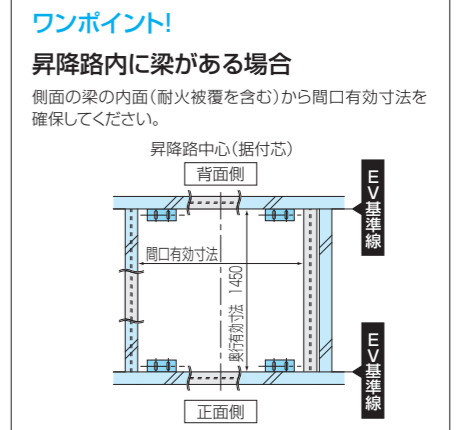
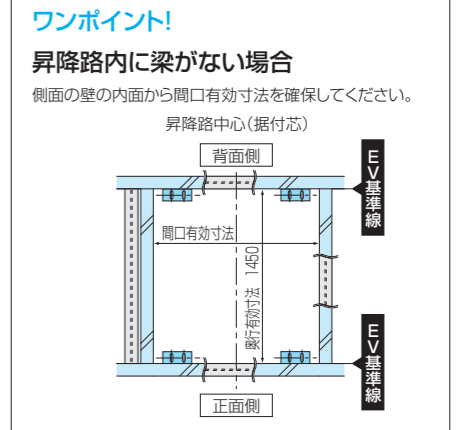
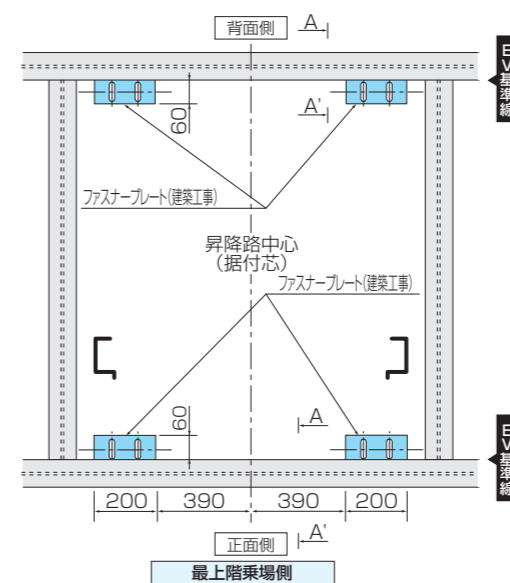
最下階を除く各階の床梁と最上階頂部の梁に、ファスナープレートを設けてください。  
(梁のジョイント部分とファスナープレートが重ならないようにしてください。)



※1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の100mmを除いた1080mmとなります。  
※2 記載の値は、踏込部(センサー感知部分)を除いた奥行有効寸法です。  
※3 間口有効寸法最大の1700mmの場合、有効寸法の中心が据付芯となります。

#### ファスナープレートの取付位置

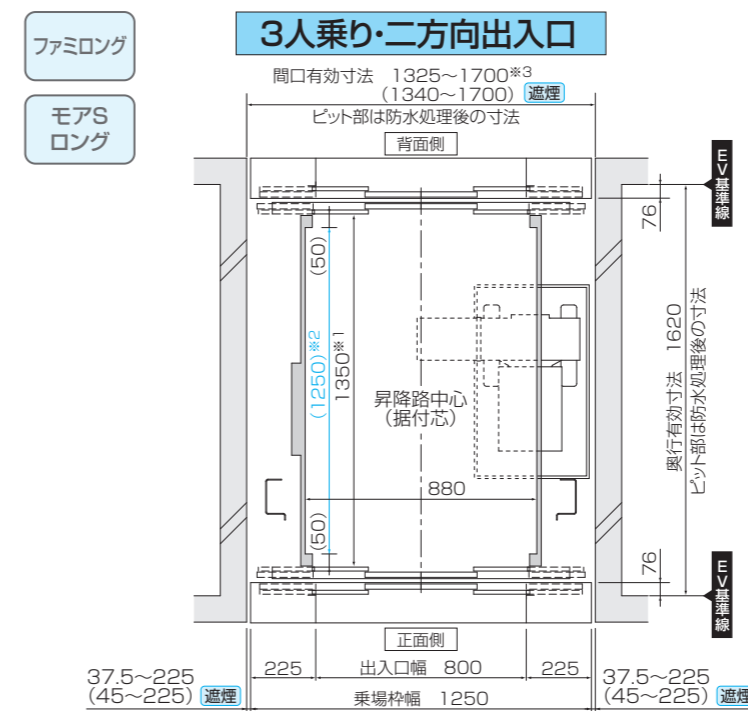
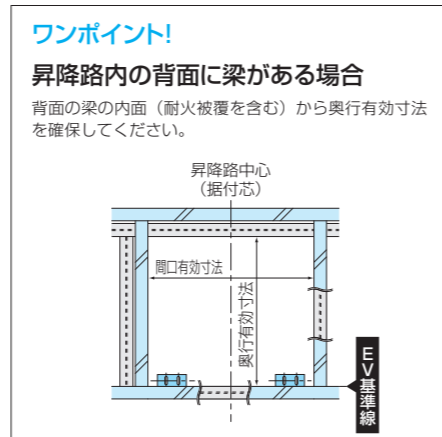
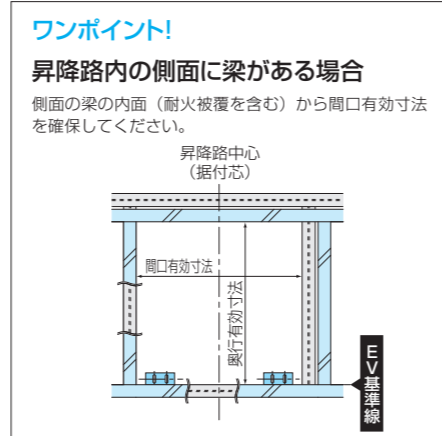
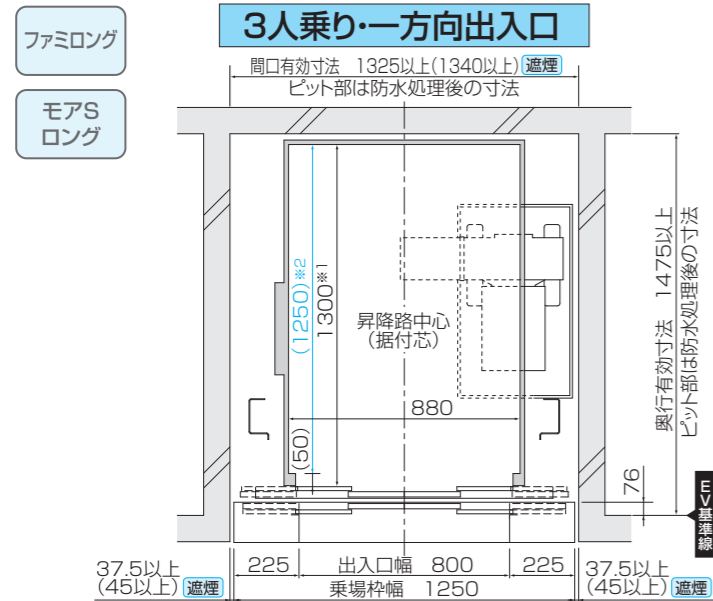
最下階を除く各階の床梁と最上階頂部の梁に、ファスナープレートを設けてください。  
(梁のジョイント部分とファスナープレートが重ならないようにしてください。)



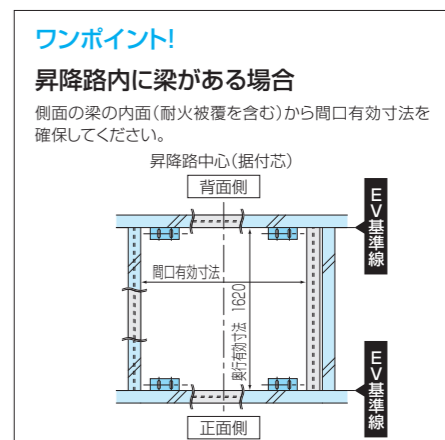
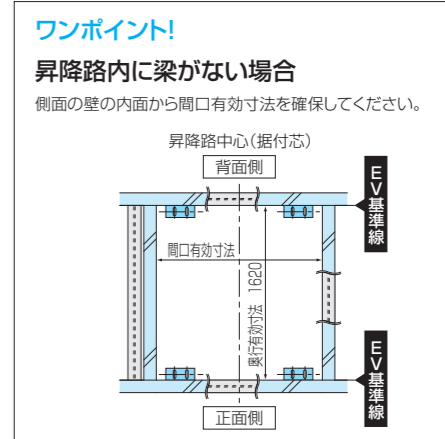


## 標準平面図 遮煙乗場ドア適用の場合は、一部寸法が異なりますので、詳しくは71〜76ページをご参照ください。 (遮煙)の値は遮煙乗場ドア適用の場合の寸法を示します。

- 下図の昇降路有効寸法を確保してください。
- 電気・電話工事は77〜80、82ページをご参照ください。
- EV基準線、二方向出入口の留意点につきましては11〜14ページをご参照ください。
- 地下階がコンクリート造などの建物が複合構造となる場合は、EV基準線や昇降路有効寸法の確保について当社までご相談ください。

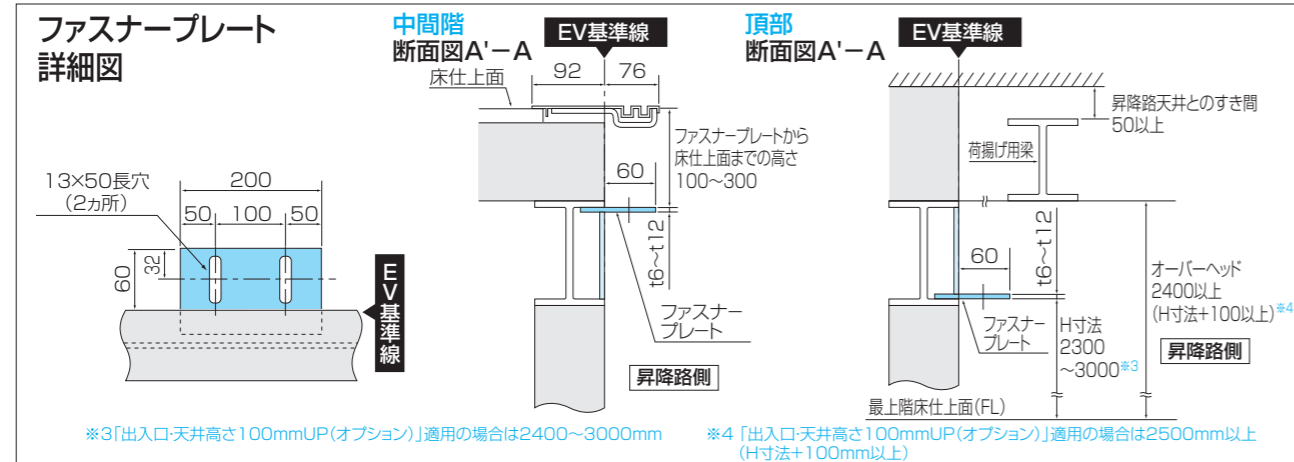
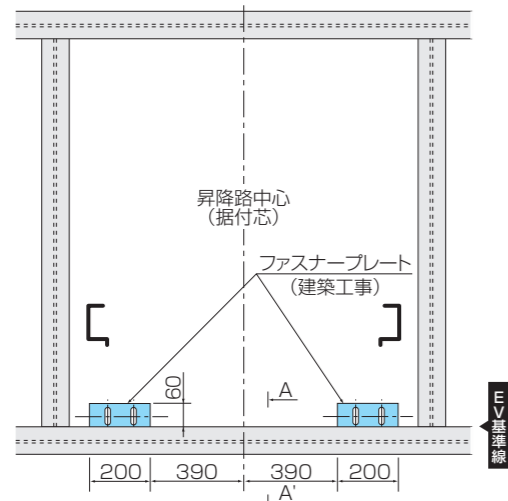


※1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の100mmを除いた1250mmとなります。  
※2 記載の値は、踏込部(センサー感知部分)を除いた奥行有効寸法です。  
※3 間口有効寸法最大の1700mmの場合、有効寸法の中心が据付芯となります。



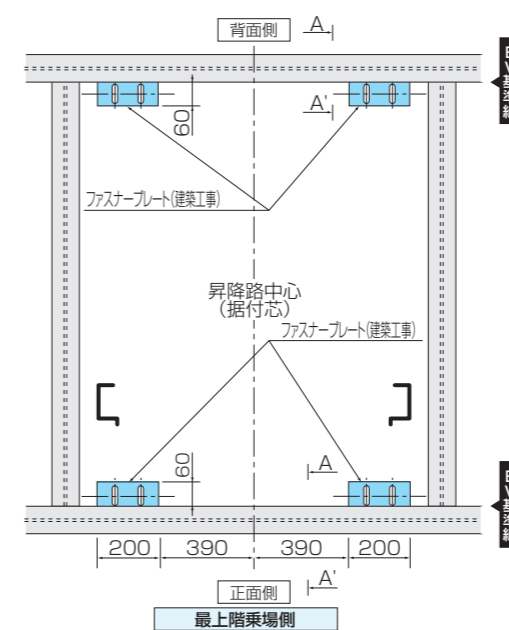
### ファスナープレートの取付位置

最下階を除く各階の床梁と最上階頂部の梁に、ファスナープレートを設けてください。  
(梁のジョイント部分とファスナープレートが重ならないようにしてください。)



### ファスナープレートの取付位置

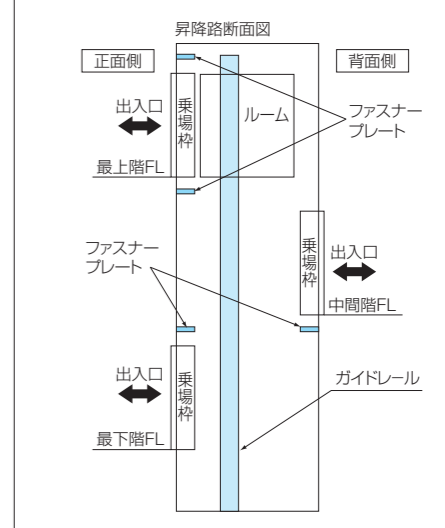
最下階を除く各階の床梁と最上階頂部の梁に、ファスナープレートを設けてください。  
(梁のジョイント部分とファスナープレートが重ならないようにしてください。)



### ワンポイント!

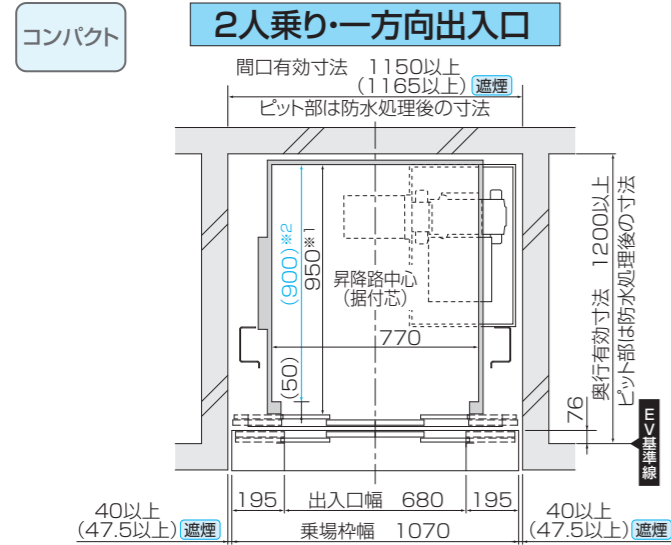
#### 二方向出入口の場合のファスナープレート取付位置

ファスナープレートは、ガイドレール側の最下階を除く各階の床梁と最上階頂部の梁に設けてください。また背面側の乗場の床梁にファスナープレートを設けてください。  
(ガイドレールの設置位置は、最上階乗場側が基準となります。)



## 標準平面図 遮煙乗場ドア適用の場合は、一部寸法が異なりますので、詳しくは71〜76ページをご参照ください。 (遮煙)の値は遮煙乗場ドア適用の場合の寸法を示します。

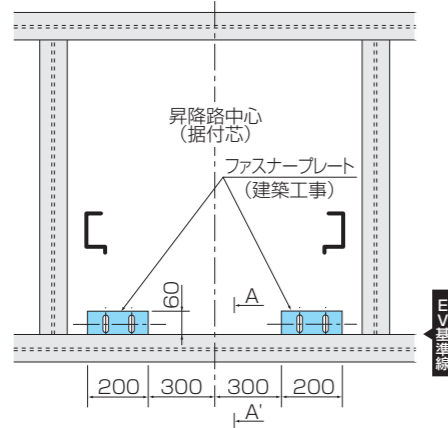
- 下図の昇降路有効寸法を確保してください。
- 電気・電話工事は77〜80、82ページをご参照ください。
- EV基準線、二方向出入口の留意点につきましては11〜14ページをご参照ください。
- 地下階がコンクリート造などの建物が複合構造となる場合は、EV基準線や昇降路有効寸法の確保について当社までご相談ください。



※1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の50mmを除いた900mmとなります。  
※2 記載の値は、踏込部(センサー感知部分)を除いた奥行有効寸法です。

### ファスナープレートの取付位置

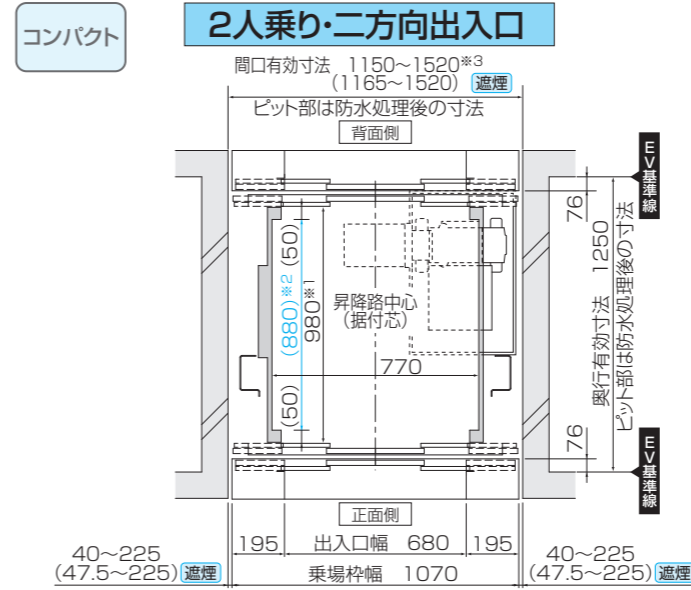
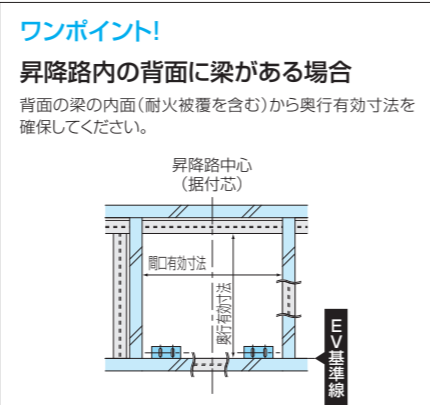
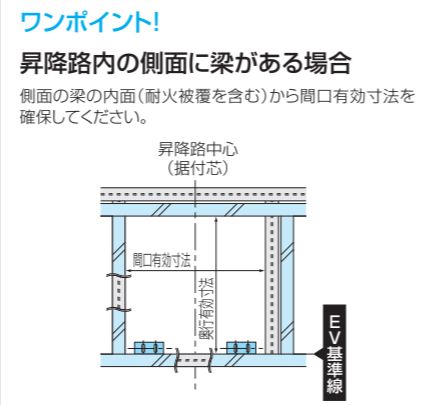
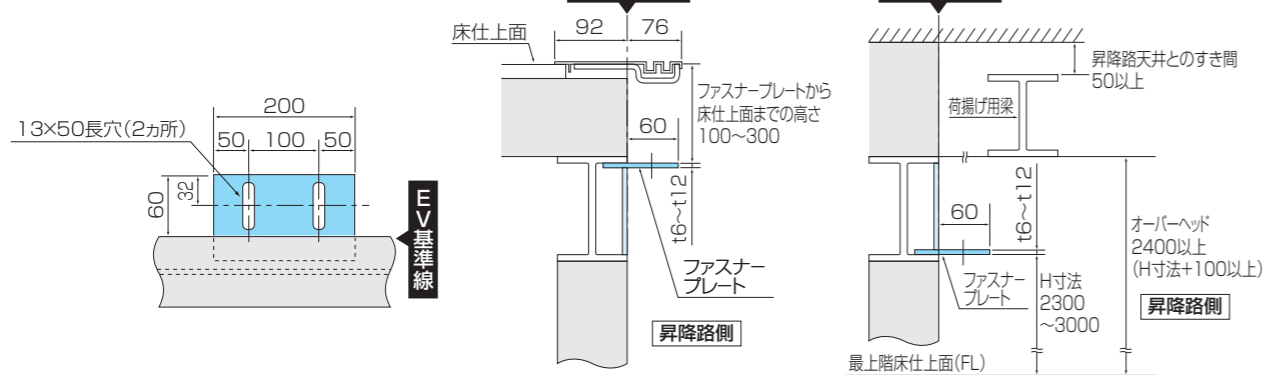
最下階を除く各階の床梁と最上階頂部の梁に、ファスナープレートを設けてください。(梁のジョイント部分とファスナープレートが重ならないようにしてください。)



### ファスナープレート詳細図

中間階 断面図A'-A EV基準線

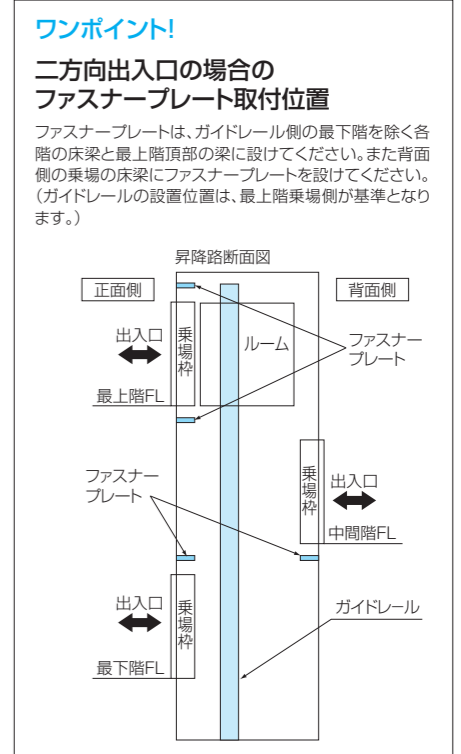
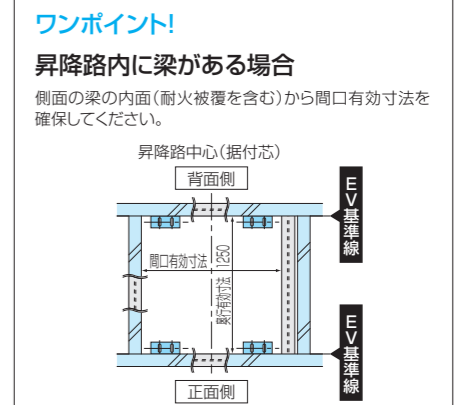
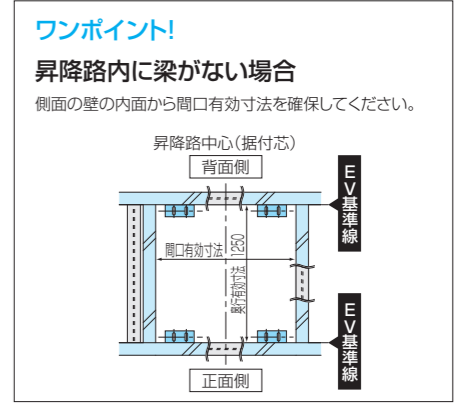
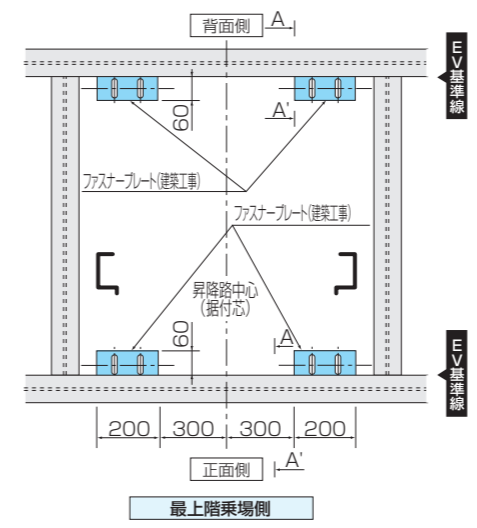
頂部 断面図A'-A EV基準線



※1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の100mmを除いた880mmとなります。  
※2 記載の値は、踏込部(センサー感知部分)を除いた奥行有効寸法です。  
※3 間口有効寸法最大の1520mmの場合、有効寸法の中心が据付芯となります。

### ファスナープレートの取付位置

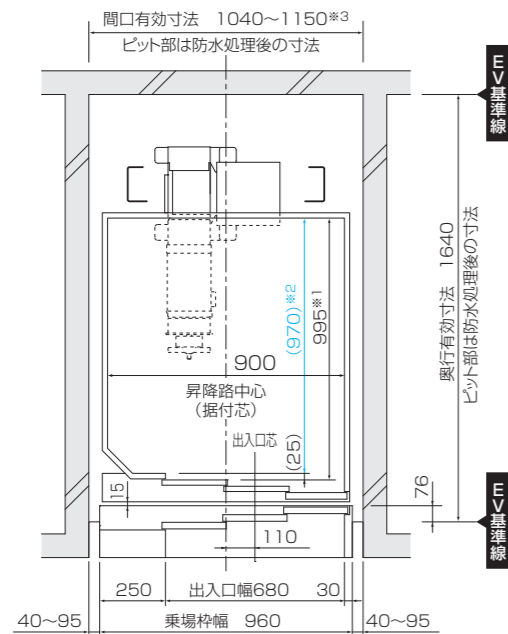
最下階を除く各階の床梁と最上階頂部の梁に、ファスナープレートを設けてください。(梁のジョイント部分とファスナープレートが重ならないようにしてください。)



#### 標準平面図 遮煙乗場ドア適用の場合は、一部寸法が異なりますので、詳しくは71〜76ページをご参照ください。 (遮煙)の値は遮煙乗場ドア適用の場合の寸法を示します。

- 下図の昇降路有効寸法を確保してください。
- 電気・電話工事は77〜80、82ページをご参照ください。
- EV基準線の留意点につきましては11ページをご参照ください。
- 地下階がコンクリート造などの建物が複合構造となる場合は、EV基準線や昇降路有効寸法の確保について当社までご相談ください。

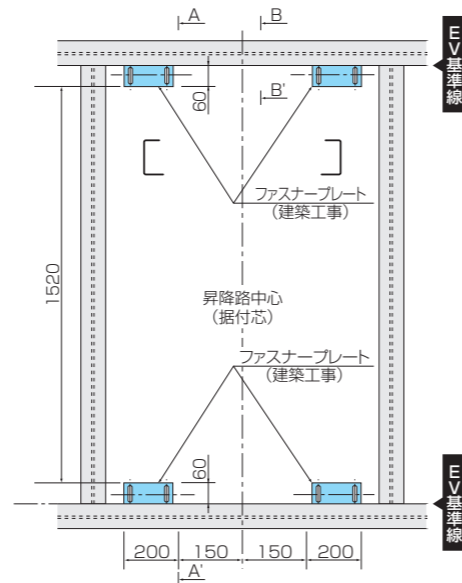
#### ファミスリム 3人乗り・一方向出入口



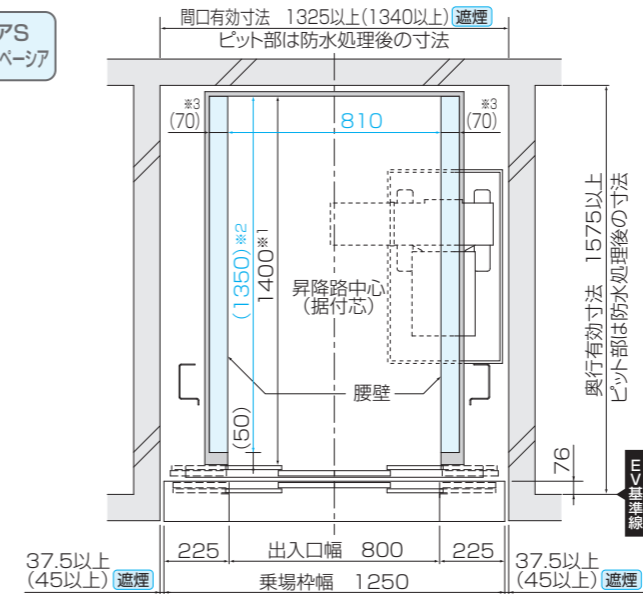
※1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の25mmを除いた970mmとなります。  
※2 記載の値は、踏込部を除いた奥行有効寸法です。  
※3 開口有効寸法最大の1150mmの場合、有効寸法の中心が据付芯となります。

#### ファスナープレートの取付位置

最下階を除く各階の床梁と最上階頂部の梁に、ファスナープレートを設けてください。  
(梁のジョイント部分とファスナープレートが重ならないようにしてください。)



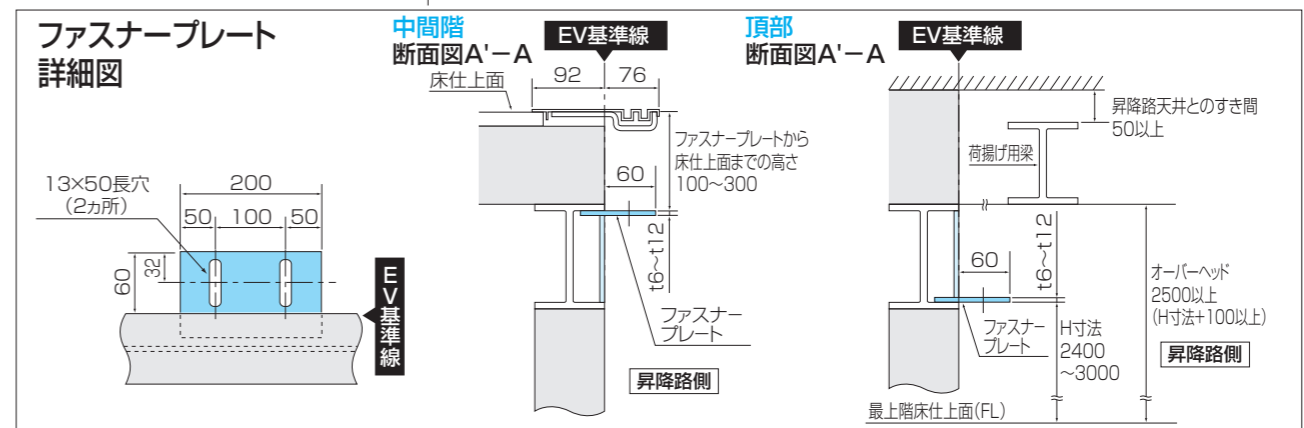
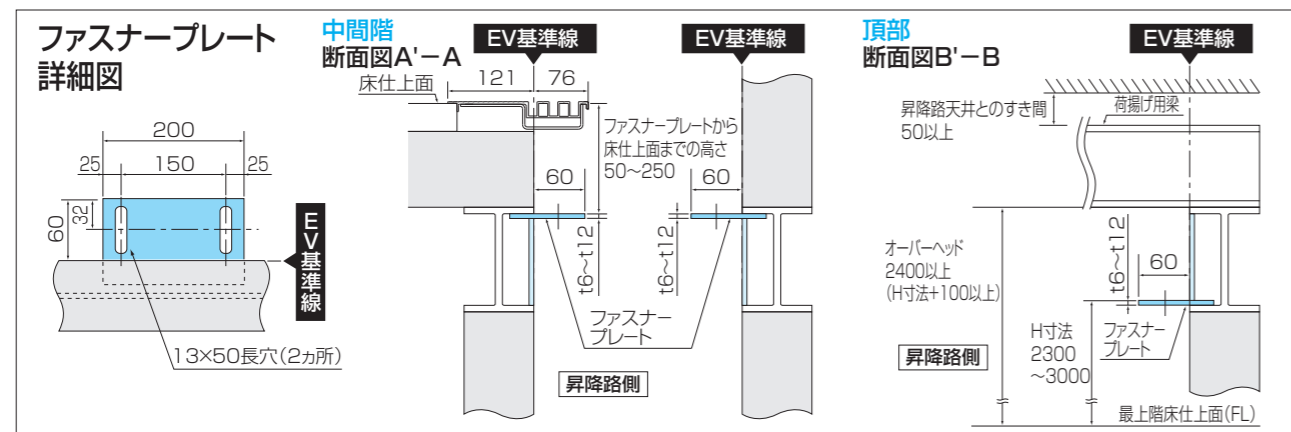
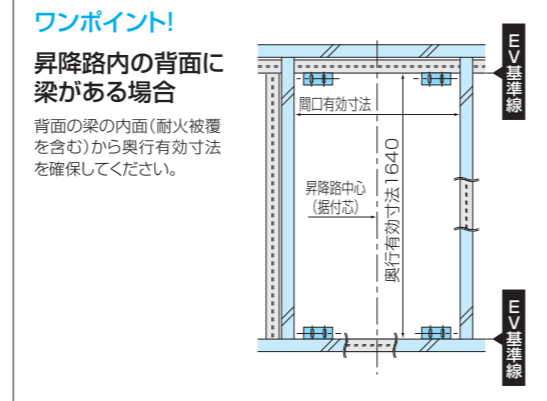
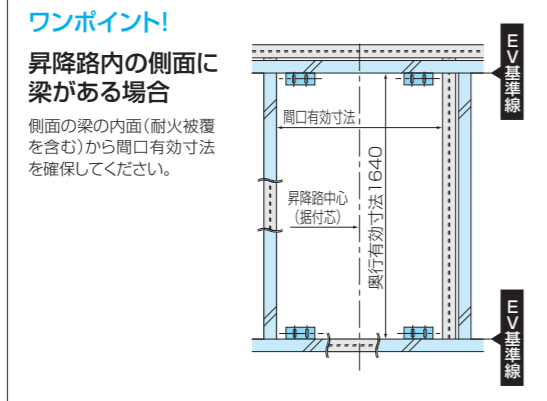
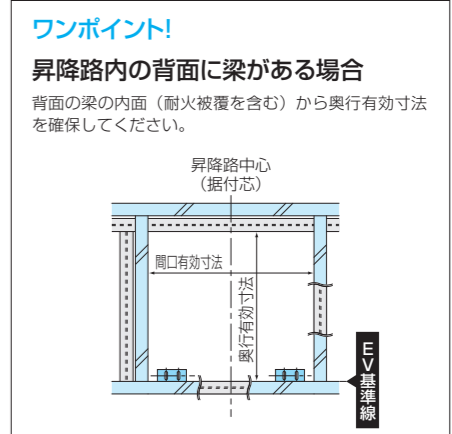
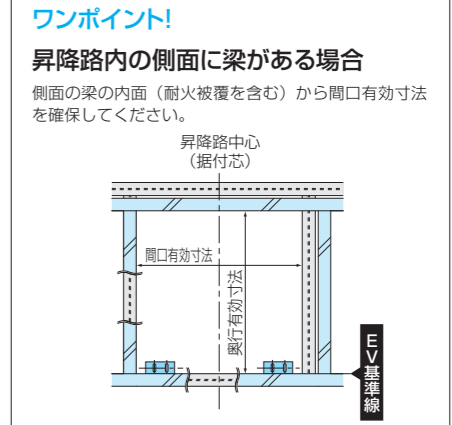
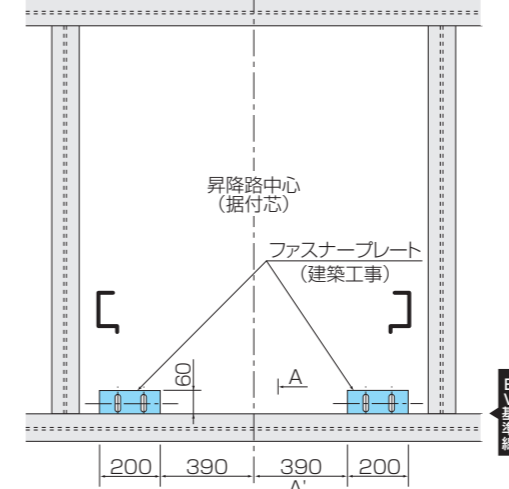
#### モアS ウェルスペース 3人乗り・一方向出入口



※1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の50mmを除いた1350mmとなります。  
※2 記載の値は、踏込部(センサー感知部分)を除いた奥行有効寸法です。  
※3 記載の値は、腰壁から壁面までの寸法です。

#### ファスナープレートの取付位置

最下階を除く各階の床梁と最上階頂部の梁に、ファスナープレートを設けてください。  
(梁のジョイント部分とファスナープレートが重ならないようにしてください。)

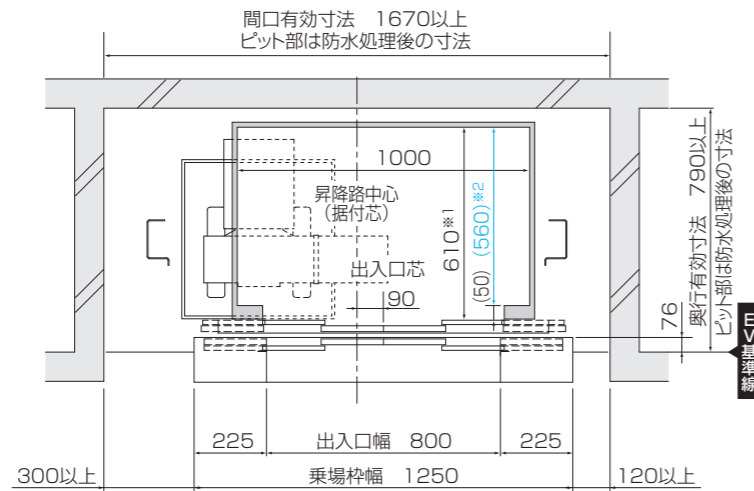




## 標準平面図

- 下図の昇降路有効寸法を確保してください。
- 電気・電話工事は77~80、82ページをご参照ください。
- EV基準線につきましては11ページをご参照ください。
- 地下階がコンクリート造などの建物が複合構造となる場合は、EV基準線や昇降路有効寸法の確保について当社までご相談ください。

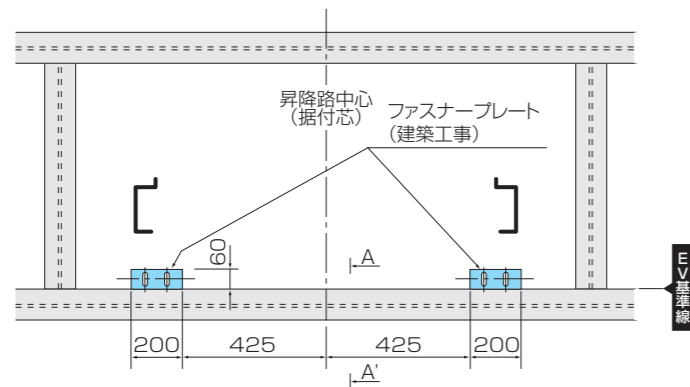
ジュニア



※1 確認申請及び建築基準法による、床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の50mmを除いた560mmとなります。  
 ※2 記載の値は、踏込部(センサー感知部分)を除いた奥行有効寸法です。

## プレートの取付位置

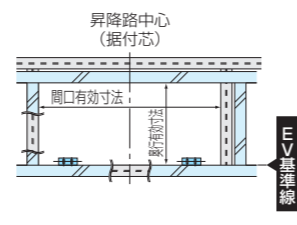
最下階を除く各階の床梁と最上階頂部の梁に、ファスナープレートを設置してください。  
 (梁のジョイント部分とファスナープレートが重ならないようにしてください。)



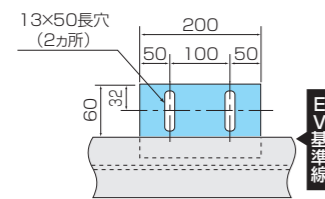
## ワンポイント!

### 昇降路内の側面に梁がある場合

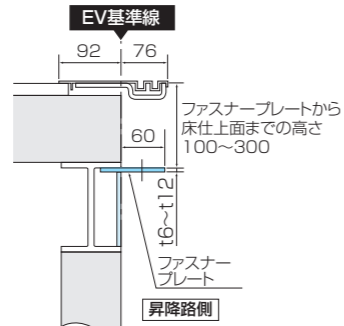
側面の梁の内面(耐火被覆を含む)から間口有効寸法を確保してください。



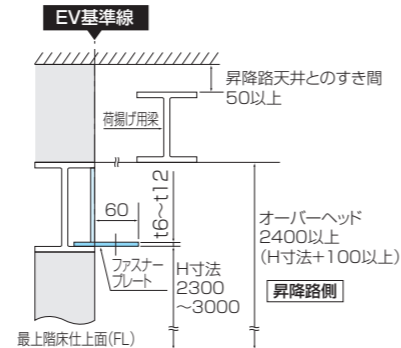
## ファスナープレート詳細図



### 中間階 断面図A'-A



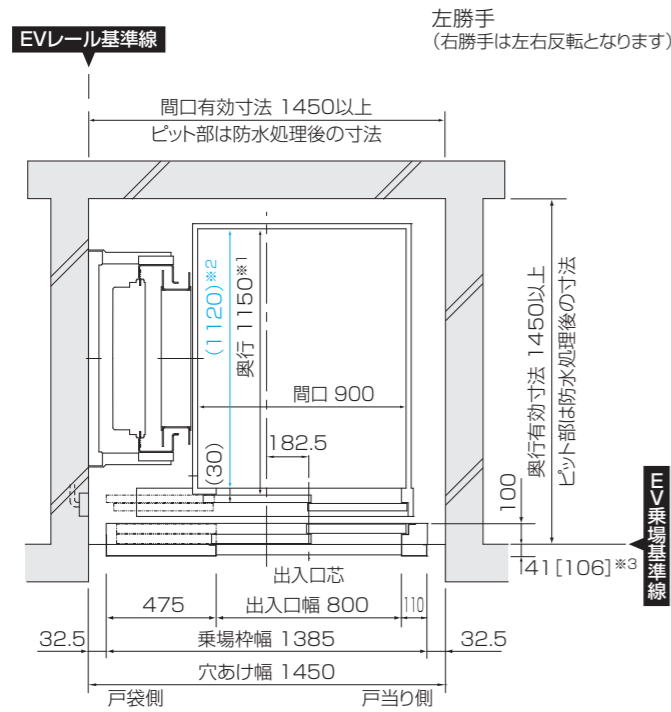
### 頂部 断面図A'-A



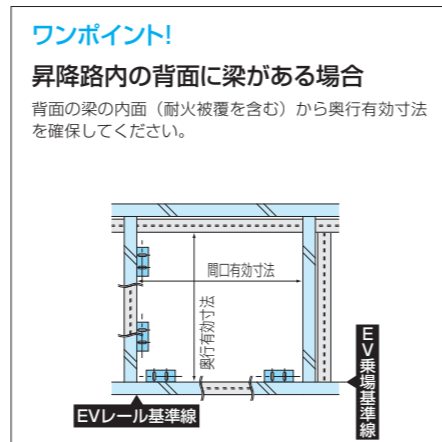
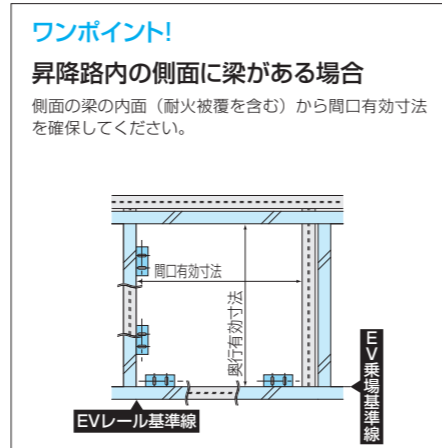
## 標準平面図

- 下図の昇降路有効寸法を確保してください。
- 電気・電話工事は81ページをご参照ください。
- EV基準線の留意点につきましては15ページをご参照ください。
- 地下階がコンクリート造などの建物が複合構造となる場合は、EV基準線や昇降路有効寸法の確保について当社までご相談ください。

R-メート



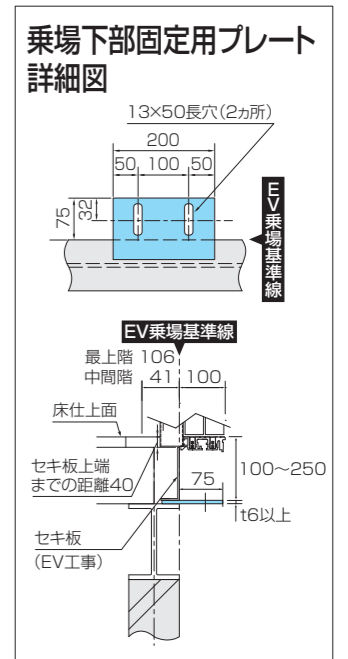
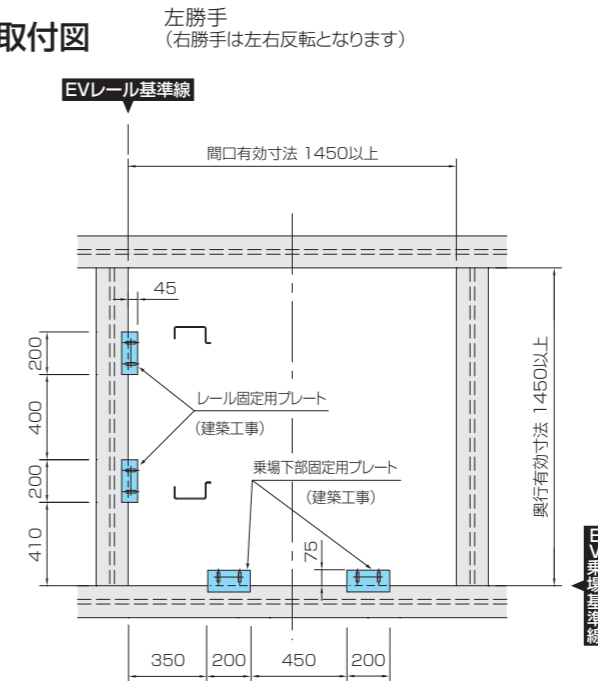
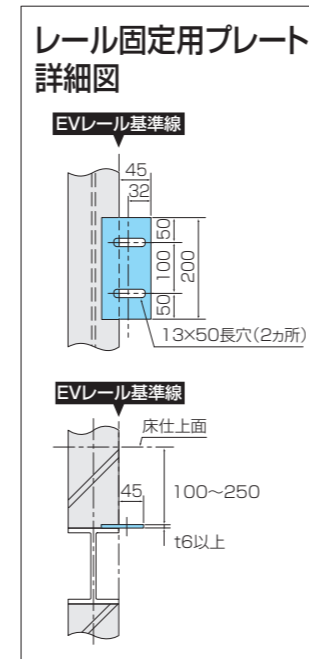
※1 確認申請および建築基準法による床面積計算時のルーム奥行寸法は、踏込部の30mmを除いた1120mmとなります。  
 ※2 記載の値は、踏込部を除いた奥行有効寸法となります。  
 ※3 [ ]内の数値は、最上階を示します。



## 乗場上部・下部およびレール固定用プレート取付図

- 最下階を除く各階の中間階荷重支持用梁に乗場下部固定用プレートおよびレール固定用のプレートを設けてください。
- 最上階の頂部荷重支持用梁には、レール固定用プレートを設けてください。
- 乗場上部を固定するため、穴あけ上端部に乗場固定用アングルおよび乗場上部固定用プレートを設けてください。

### 乗場下部およびレール固定用プレート取付図



### 乗場上部固定用プレート取付図

